

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2017年5月1日を以ってルネサス セミコンダクタ パッケージ&テスト ソリューションズ株式会社の半導体製造装置をはじめとする各種産業用制御ボードの受託開発・製造および画像認識システム開発・製造・販売事業を日立マクセル株式会社へ譲渡したことにより、当該事業は日立マクセル株式会社の子会社として新設されるマクセルシステムテック株式会社に承継されております。

従いまして、ドキュメント等資料中には、旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

敬具

2017年5月1日

マクセルシステムテック株式会社

【発行】 マクセルシステムテック (<http://www.systemtech.maxell.co.jp/>)

【お問い合わせ先】 denki-support@maxell.co.jp

maxell
マクセルシステムテック株式会社

SMALIGHT TECHNICAL UPDATE

〒105-0004 東京都港区新橋5-11-3 新橋住友ビル8階
株式会社 ルネサス北日本セミコンダクタ
営業本部 電子機器営業部

問合せ窓口： soft.support@kitasemi.renesas.com

製品分類	Smalight OS	発行番号	SL-0808-002	Rev	第1版
題名	Smalight OS H8S/Tiny対応のお知らせ		情報分類	仕様変更	
適用製品	SL2000KNL03S5B	対象ロット	V3.10	関連資料	Smalight OS V3リファレンスマニュアル

拝啓、貴社益々御清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別の御高配を賜り、感謝申し上げます。

Smalight OSがH8S/Tiny (H8S/20103, H8S/20203, H8S/20223グループ) に対応しました。

【対応製品】 Smalight OS for H8S/2000 V3.10以降

【型名】 SL2000KNL03S5B

【注意事項】

- (1) H8S/TinyのCPUコアはH8S/2000コアの為、H8S/2000シリーズ用のSmalight OSをそのままご使用頂けます。
- (2) H8S/TinyでサポートされるCPU動作モード、および、割込み制御モードは以下の通りです。サポートされるCPU動作モード、割込み制御モードに合わせて、Smalight OSのワークスペース、および、プロジェクトにて設定されるビルドコンフィグレーションを選択してください。

CPU動作モード [*]	対応ワークスペース	割込み制御モード [*]	ビルドコンフィグレーション
Advanced Mode (アドレス空間16Mバイト)	C:¥smalight¥os¥2000a_v VRRs VRR: バージョン情報	0	obj_2000a_16m_im0
		2	obj_2000a_16m_im2

割込み制御モードは、ソフトウェアによりINTCRレジスタのINTM[1-0]ビットを書き換えることで選択されます。Smalight OSが提供する uinit()コールバックルーチン内でINTCRレジスタを初期化する必要がございます。

- (3) H8S/Tinyに搭載される割込みコントローラは、H8S/2000CPUの仕様と異なります。割込み制御モード2を選択したとき、割込みプライオリティレベルは0~3となります(そのため、EXRレジスタのI2ビットは割込みコントローラで無視されます)。割込み制御モード2を選択したとき、以下の制限がございます。

- (3-1) Smalight OSのカーネルマスケレベルの設定は1~3のみを設定してください。Smalight Configurator V1.00.10から、H8S/Tiny対応しました。本ツールにて、OSコンフィギュレーションを行うことで、容易に設定頂けます。

Smalight Configurator最新版は、弊社ホームページよりダウンロードしてご使用頂けます。
<http://www.kitasemi.renesas.com/product/smalight/>

- (3-2) Smalight OS上で開発されるアプリケーションで、EXRレジスタのI2ビットは“0”のままご使用ください。EXRレジスタのI2ビットに“1”を設定した場合の動作は保証されません。
- (4) H8S/Tinyは、リセット解除後、MSTCR1 のMSTWDT ビットは1 にセットされていますが、カウンタクロックは $\phi_{\text{loco}}/8$ が選択されているため、ウォッチドッグタイマは動作します(モジュールスタンバイ状態のため、レジスタへのアクセスはできません)。

WDTによるリセットが発生しない様に、ソフトウェアによるWDTカウンタクリア、または、WDTを停止するなどの設定が必要になります。

— 以上 —